asahikawa machinami
あさなみ

旭川の風景・街並イラスト展 開催中
無料でご覧いただけます！

展示場所：ブンカフェー（ショーウインドウに展示）
〒070-0035 旭川市5条通7丁目 旭川フードテラス1階
TEL:0166-73-5099
買物公園通り沿いにある旭川フードテラス1階のブンカフェー様にて、あさなみイラストをご覧いただけます。

展示のお申し込みはこちらまで：asanami@sohokkkai.jp

あさなみ オンラインショップはこちら→

各種あさなみグッズを販売中！

←ペーパーファイル（10枚入り）¥2,200（税込）

ランチョンマット（10枚入り）¥1,650（税込）↑

↑ポストカードセット（8枚入り）
¥2,200（税込）

編集後記

今回は、弊社の育児休暇取得事例についてご紹介しました。イクメンについては、人間だけでなく動物の世界でも様々な例があります。中でも地球上で最も忍耐強い子育てをすると言われているコウテイペンギンが有名です。オスのコウテイペンギンのイクメンぶりには驚かされます。メスは産卵後、自身の体力回復とヒナへのエサを獲るために海に出かけてしまうのですが、その間オスはマイナス60度の厳寒の地で、卵を脚に乗せお腹で包むようにして約4ヵ月もの間、絶食状態で卵を温め続けるのだそうです。コウテイペンギンのパパになる覚悟たるや凄まじく、命がけの子育てをします。メスが戻る前に卵が孵化すると、オスは食道からの分泌物（ペンギンミルク）で授乳まで行うのです。イクメンの大先輩ともいえるコウテイペンギンの子育てについて、男性の皆さんは一度知っておくべきかも。以前フランスで作られたドキュメンタリー映画を見たことがありますが、映像で見ると本当に感動的な内容でした。オススメです！（T）

nexTRY vol.94
総合印刷の総北海が発信するコミュニケーション誌 2024年1月

株式会社 総北海 www.sohokkai.co.jp
旭川／〒078-8272 旭川市工業団地２条１丁目１番23号 TEL.0166-36-5556 FAX.0166-36-5657
札幌／〒065-0021 札幌市東区北21条東1丁目4番6号 TEL.011-731-9500 FAX.011-731-9515
東京／〒130-0022 東京都墨田区江東橋4-25-10 加藤ビル2F TEL.03-5625-7321 FAX.03-5625-7323
https://www.sohokkai.co.jp
https://www.facebook.com/sohokkai/

nexTRY vol.94
総合印刷の総北海が発信するコミュニケーション誌
2024年1月

総北海のイクメンプロジェクト

「育児休暇」取得の事例紹介

旭川空港ターミナルビル（東神楽町）

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年は元日に能登半島地震が発生し、続いて翌日には羽田空港で航空機衝突という大きな事故が発生いたしました。災害や事故は予測できない状況で襲ってくるものであり、改めて危機管理の重要性を痛感しております。
この度の災害と事故で被災された皆さまには心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。そして一日も早く復興がなされることを願い、私たちが今、出来ることについて考え、被災地の方々と共に歩んでいきたいと考えております。
昨年、弊社は75周年を迎えました。印刷業を中心に据えた複数の事業を展開し、100年企業を目指しております。長らくのご支援に感謝いたし、皆様のご繁栄を心より祈念しております。
2024年も変わらぬご愛顧を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

総北海のイクメンプロジェクト
「育児休暇」取得の事例紹介

「育休を取得したいです」
声を上げてくれたのは、印刷課でカラー印刷機機長を務める鈴木隆治さん。小学校２年生と保育園児のパパで、奥様が第３子の出産を控えた時期に育児休暇を取得したいとの申し出がありました。
弊社では以前から福利厚生を充実させるべきという社内ポリシーを打ち立てていましたので、今回の申し出は歓迎されました。弊社で初めての育休取得者となった鈴木さんから、育児休暇を終えての感想と体験を聞き出しました。

印刷課
鈴木 隆治さん

聞き手 まずはお子さんの誕生おめでとうございます！

ありがとうございます。印刷課の仲間や会社の皆さんの後押しもあり、育児休暇をとることができました。

聞き手 どのくらいの期間取得しましたか？
また、実際取得してみてどうでしたか？

期間は約1ヶ月半ですね。
子どもたちと長く一緒にいる時間ができました。
印刷課はローテーション勤務なので、夜勤や土日出勤で普段は子どもたちの時間に合わせてあげられないのですが、育児休暇の間は一緒にいられました。
妻の出産前後はできるだけサポートしたいと思っていましたが、その時間を作ることができました。
休暇をとっていなかったらできなかったので、そういう面で育休は良かったです。

聞き手 育休制度についてどう思いますか。

絶対に取得した方がいい、というよりは、取得しなければいけないと感じます。経験者から言うと、そこは本当にそう思います。次はもうないとは思いますが（笑）、機会があれば是非また取得したいです。

聞き手 最後にひとことお願いします！

貴重な時間をいただき、会社には感謝しています。
ありがとうございました。

当社初のイクメン育休取得の鈴木さんは、主力のカラー印刷機機長であり製品品質の要です。
男性の育児参画は社会全体で実現すべき課題であり、一企業として取り組めたのはとても良い経験でした。
弊社では今後も、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を考えた組織づくりを進めてまいります。